



IT Asset Management 2024 R2.3

システム要件および互換性

目次

1. IT Asset Management システム要件および互換性 (クラウド エディション)	3
ハードウェア要件	3
前提条件ソフトウェア	4
ネットワーク要件	11
その他の製品との互換性	16
2. ドキュメント	22
3. その他の情報	23
4. 法的情報	24

1

IT Asset Management システム要件および互換性 (クラウド エディション)

IT Asset Management はインストール済みのソフトウェア、アプリケーションの使用状況、購入に関する詳細情報をレポートし、またこれらを照合してライセンス ポジションを提供します。

仮想環境および Oracle データベースのインベントリを行い、Microsoft Endpoint Configuration Manager (以前は Microsoft SCCM)、および構成可能なアダプターを使って、その他のインベントリ ツールからインベントリをインポートし、エンタープライズ リソース プラニング (ERP)、人事 (HR)、Active Directory (Ad)、および発注 (PO) システムとシームレスに統合します。IT Asset Management を使って、エンタープライズは所有するソフトウェア財産を掌握し、ソフトウェア支出を最適化することができます。

このドキュメントには、次を含む IT Asset Management についての情報が掲載されています:

- FlexNet Manager for Clients
- FlexNet Manager for Datacenters
- FlexNet Manager for SAP Applications
- Service Life Data Pack.

公開済みシステム要件情報は、英語版、フランス語版、ドイツ語版、日本語版、およびスペイン語版をご利用いただけます。

ハードウェア要件

次のテーブルには、インベントリ ビーコン および FlexNet インベントリ エージェント の展開先となるターゲット インベントリ デバイスのハードウェア要件が説明されています。

FlexNet Beacon

分類	要件
プロセッサ	2 コア
メモリ	最小 4GB、8 GB 以上推奨

分類	要件
最小空きディスク領域	デバイス 10,000 台につき 1 GB

FlexNet インベントリ エージェント

分類	要件
プロセッサ	1 コア
メモリ	最小 512 MB、2 GB 以上推奨
最小空きディスク領域	25 MB インストール + 100 MB ワークスペース

前提条件ソフトウェア

IT Asset Management 2024 R2.3 リリース時にサポート対象のオペレーティング システムおよびソフトウェア前提条件は次の通りです。別途記載が無い限り、リリースのサポートには、同じリリースに対してリリースされるすべての公式サービス パックのサポートも含まれます。

コンポーネント	オペレーティング システム	前提条件ソフトウェア
Web ブラウザー	以下は現在サポートされている、良く使われている Web ブラウザーの最小バージョンです。IT Asset Management は、以下の各ブラウザの最新バージョンと 5 つ前までのバージョンをサポートしています: - Microsoft Edge for Windows 128.0.0 – 133.0.0 - Google Chrome 129.0.0 – 134.x.x - Mozilla Firefox 131.0.0 – 136.x.x - Apple Safari 13.0.0 – 18.x.x Flexera Analytics メニュー オプションの一部は、Chrome ブラウザーで利用できません。 将来的な Web ブラウザー リリースのサポートを検証することはできませんが、現時点で、将来的なリリースに問題は確認されていません。	Flexera Analytics は、Microsoft Edge との互換性がありません。 最小スクリーン解像度 1024 (水平方向のピクセル) が必要です。  メモ: Microsoft は 2022 年 6 月に Internet Explorer のサポートを終了しました。

コンポーネント	オペレーティング システム	前提条件ソフトウェア
FlexNet インベントリ エージェント	Windows プラットフォーム: - Windows Server 2008 R2 x64、2012、2012 R2、2012 R2 SP1、2016、2019、2022、2025 - Windows Server Core 2008 R2 x64、2012、2012 R2 - Windows Server Standard (旧 Windows Server Core) 2016、2019 - Window 7、8、10、11  メモ: ARM ベースのデバイス上で実行可能な Windows システムもサポートされています。 Linux プラットフォーム: - Amazon Linux 2、2023 (ARM64/AArch64、x86、32 ビットおよび 64 ビット) - ARM (AArch64) には glibc 2.17 以降が必要 - CentOS 6–7.5 (x86、32 ビットおよび 64 ビット)、7.6–9 (x86 64 ビットのみ)、CentOS Stream 10 - Debian Linux 8–11.3 (x86、32 ビットおよび 64 ビット)、11.5、12.0–12.8 (x86 64 ビットのみ) - Debian Linux 9.4 および 10 (32 ビットおよび 64 ビット) の場合、必要最小限 OS コアのインストールは ifconfig コマンドを省略します。これによって、インベントリで IP アドレスおよび MAC アドレスの収集が阻止されます。root ユーザーは、次のコマンドを使ってこの機能を復元できます: <pre>apt-get install net-tools -y</pre> - Fedora Linux 26 (x86、32 ビットおよび 64 ビット)、27–41 (x86 64 ビットのみ) - glibc 2.17 以降を含む POWER、ARM64 (aarch64) および s390x (IBM zSystem) シ	前提条件なし。

コンポーネント	オペレーティング システム	前提条件ソフトウェア
	ステム: ◦ CentOS 7.4 以降 ◦ Debian 8 以降 ◦ Fedora 21 以降 ◦ Red Hat Enterprise Linux (RHEL) 7.4 以降 ◦ SUSE 12 以降 ◦ Ubuntu 14.04 以降 ・ POWER マイクロプロセッサ サポートは、リトルエンディアン (ppc64le) のみに限られています。FlexNet インベントリ エージェント は、ビッグエンディアン (ppc64) のディストリビューション上では実行しません。ppc64le ビルドを含まないディストリビューションは、POWER マイクロプロセッサでサポートされておらず、サポートされていないディストリビューションには、Amazon Linux、Oracle Linux、および Photon OS が含まれます (ただし、一覧されている Intel アーキテクチャで引き続きサポートされています)。 ・ Nutanix AHV ハイパーバイザー。製品サポート ライフサイクル内のすべてのバージョンおよび libvirt ライブラリの使用がサポートされています。 ・ OpenSUSE Leap 42.2, 42.3 (x86、32 ビットおよび 64 ビット)、15-15.6 (x86、64 ビットのみ) ・ Oracle Linux 6.0-6.10 (x86、32 ビットおよび 64 ビット)、7.0-8.10 および 9.0-9.5 (x86 64 ビットのみ) ・ Photon OS 3.0-5.0 ・ Red Hat Enterprise Linux (RHEL) 6.0-6.10 (x86、32 ビットおよび 64 ビット)、7.0-8.10	

コンポーネント	オペレーティング システム	前提条件ソフトウェア
	および 9.0–9.5 (x86 64 ビットのみ) - Rocky Linux 8、9 - SUSE Linux Enterprise Server 12 SP3、12 SP4、12 SP5、15、15 SP1、15.2–15.6 (x86 64 ビットのみ) - Ubuntu 14–17.04 (x86、32 ビットおよび 64 ビット)、17.10–24.10 (x86 64 ビットのみ) その他のプラットフォーム: - AIX 7.1 LPAR の Technology Level 5 以降、AIX 7.2 - macOS 10.15.4–15 (Intel および Apple M シリーズのプロセッサ両方に適用) - Apple M シリーズ プロセッサ (「Apple シリコン」) 上で FlexNet インベントリ エージェント のバージョン 20.1 以前を実行する必要がある場合、Rosetta 2 がインストール済みおよび実行中である必要があります。これが、ほとんどの Intel ベースのアプリケーションを Apple シリコン上で実行するための移行ソリューションです。Rosetta 2 のインストールには、2 つのコマンド形式があります: - Rosetta 2 ライセンスの同意を求め るインタラクティブなインストール: <pre>/usr/sbin/softwareupdate --install-rosetta</pre> - 非インタラクティブなインストール: <pre>/usr/sbin/softwareupdate --install-rosetta --agree-to-license</pre> - Solaris 10–11 (SPARC)、Zones バージョン 10–11 - Solaris 10–11.4 (x86)、Zones バージョン 10–11	

コンポーネント	オペレーティング システム	前提条件ソフトウェア
Flexera の Kubernetes インベ ントリ エージェント	・ Linux x86_64	次の Kubernetes の実装が Linux x86_64 上 でサポートされています:
	・ Linux s390x (glibc 2.17 以降が必要)	・ Kubernetes 1.16-1.30
	・ Linux AArch64/AArch64 (glibc 2.17 以降 が必要)	・ Amazon EKS
		・ Azure AKS
		・ kind (Kubernetes in Docker)
		・ Minikube
		・ OKD 4.x
		・ Red Hat OpenShift 4.x
		次の Kubernetes の実装が Linux s390x 上 でサポートされています:
		・ Kubernetes 1.16-1.30
		・ OKD 4.x
		・ Red Hat OpenShift 4.x
		次の Kubernetes の実装が Linux AArch64/ ARM64 上でサポートされています:
		・ Kubernetes 1.16-1.30

コンポーネント	オペレーティング システム	前提条件ソフトウェア
FlexNet Beacon	- Windows Server 2012、2012 R2、2016、2019、2022、2025 - Window 8、10、11	.NET Framework バージョン 4.7.2-4.8 - 任意のサポート対象 Web ブラウザー - Oracle データベース インベントリの場合、Oracle OLE DB Provider (32 ビット)、バージョン 10.2.0.3 以降 - DB2 データベース、IBM OLE DB Provider (32 ビットまたは 64 ビット) からデータをインポートするための接続ドライバーが 32 または 64 ビットのどちらであるかは、オペレーティング システムによって決まり、64 ビットのオペレーティング システムでは、64 ビットドライバーが必要です。 - PowerShell 5.1 以降。 - AWS への接続には、AWS Tools for PowerShell バージョン 3.3.283.0 以降も必要です。 - Citrix Cloud への接続は、Citrix Remote PowerShell SDK の任意のバージョンが必要です。 - Microsoft Azure への接続には、PowerShell version 5.1 以降、並びに Microsoft Az モジュール バージョン 6.1.0 および Microsoft Azure Resource Graph モジュール バージョン 0.11 以降が推奨されます。  ヒント: Azure モジュールの古いバージョンを引き続き使用することができませんが、使用可能な機能が制限されます: - 元の <i>Microsoft Azure Resource Manager</i> モジュール (バージョン 6.8.1 以降) を引き続き使用することができますが、Azure Hybrid Benefit データの収集を行わないことが前提で、改良されたパフォーマンスを活用することもできません (ライフサイクル終了日が近づいている点にもご留意ください)。

コンポーネント	オペレーティング システム	前提条件ソフトウェア
		◦ Azure ハイブリッド特典データの収集には、新しい Microsoft Az モジュール (バージョン 5.2.0 以降) が必要です。 ◦ Azure 内で大規模な実装を行っているエンタープライズでは特に、パフォーマンスのさらなる向上のため、Microsoft Az モジュール (バージョン 6.1.0 以降) および Microsoft Azure Resource Graph モデル (バージョン 0.11 以降) の組み合わせが推奨されます。 ・ Microsoft Office 365 Online Service への接続には、次も必要です: ◦ 64 ビット サーバー オペレーティング システム ◦ PowerShell 5.1 以降。  メモ: 推奨されている Microsoft 365 コネクタではなく、Microsoft Office 365 (非推奨) コネクタを使用する場合、追加の前提条件があります。これらの追加前提条件についての詳細は、このガイドを参照してください。 ・ Tanium Asset への接続には、次が必要です: ◦ Tanium Server バージョン 7.3.314.3668–7.5.5.1140 ◦ Windows Server 2012 以降、または Windows 7 SP1 以降で実行中の PowerShell バージョン 5.1 以降
FlexNet Manager for SAP Applications – Admin Module Transport	・ SAP Basis リリース 7.0 から 7.53	SAP リリースに一致する SAP GUI をインストールする必要があります。
FlexNet Manager for SAP Applications – Satellite Transport	・ SAP Basis リリース 4.6C から 7.53	前提条件なし

ネットワーク要件



メモ: [AWS パブリック IP] 列に表示されている 3 つの IP アドレスは、異なる 3 つの AWS アベイラビリティゾーンを示します。スタティック IP アドレスが提供されていない場合に [ダイナミック] が表示されます。必ずセーフリストに関連するドメインを追加してください。



要確認: IT Asset Management のすべての本番サーバーへのアクセスには、HTTPS プロトコルが必要です。HTTP を使用すると、307 エラーが発生し、HTTPS にリダイレクトされます。また、本番サーバーが、セキュリティ ベストプラクティスと一貫する HSTS ヘッダー (HTTP Strict Transport Security) を発行します。HSTS ヘッダーはクライアント Web ブラウザーに対して、本番サーバーへのアクセスには HTTPS のみを使用するように指示します。

環境: U.S. UAT

サービス	ドメイン	AWS パブリック IP
ビーコン	beacon-uat.flexnetmanager.com	52.12.141.115
	beacon.uat.flexnetmanager.com	35.160.90.103
		54.245.48.248
インベントリ	data-uat.flexnetmanager.com	54.71.83.177
	data.uat.flexnetmanager.com	34.214.173.38
		54.189.34.121
プレゼンテーション - Web UI	https://app.flexera.com	ダイナミック
ID とアクセス管理 (IAM)	login.flexera.com	ダイナミック
	secure.flexera.com	
	api.flexera.com	
	my.rightscale.com	
	メモ: ログインの後、テナント選択ドロップダウン リストから UAT テナントを選択してください。	
レポート	bi-uat.app.flexera.com	ダイナミック

環境: U.S. プロダクション

サービス	ドメイン	AWS パブリック IP
ビーコン	beacon.flexnetmanager.com	44.231.99.188
		54.189.154.85
		44.233.11.105

サービス	ドメイン	AWS パブリック IP
インベントリ	data.flexnetmanager.com	44,233,232,159 54.71.210.156 54.201.23.92
プレゼンテーション - Web UI	https://app.flexera.com	ダイナミック
レポート	bi.app.flexera.com	ダイナミック
UI	app.flexera.com	ダイナミック
ID とアクセス管理 (IAM)	login.flexera.com secure.flexera.com api.flexera.com my.rightscale.com	ダイナミック
Flexera Analytics	embeddedanalytics.flexera.com	ダイナミック
エラーのログ記録	cdn.trackjs.com capture.trackjs.com usage.trackjs.com fault.trackjs.com	ダイナミック
推奨	googletagmanager.com static.hotjar.com script.hotjar.com vars.hotjar.com www.google-analytics.com cdn.heapanalytics.com heapanalytics.com	ダイナミック

環境: E.U.UAT

サービス	ドメイン	AWS パブリック IP
ビーコン	beacon-uat.flexnetmanager.eu beacon.uat.flexnetmanager.eu	35,156,206,151 18,196,200,206 18.157.66.250
インベントリ	data-uat.flexnetmanager.eu data.uat.flexnetmanager.eu	3,127,204,177 18.156.19.254 18.196.164.70

サービス	ドメイン	AWS パブリック IP
プレゼンテーション – Web UI	https://app.flexera.eu	ダイナミック
ID とアクセス管理 (IAM)	login.flexera.com secure.flexera.com api.flexera.com my.rightscale.com メモ: ログインの後、テナント選択ドロップダウン リストから UAT テナントを選択してください。	ダイナミック
レポート	bi-uat.app.flexera.eu	ダイナミック

環境: E.U.プロダクション

サービス	ドメイン	AWS パブリック IP
ビーコン	beacon.flexnetmanager.eu	18,156,184,224 3.123.233.63 3,121,138,111
インベントリ	data.flexnetmanager.eu	3.126.23.8 18.197.197.2 3.127.78.223
プレゼンテーション – Web UI	https://app.flexera.eu	ダイナミック
レポート	bi.app.flexera.eu	ダイナミック
UI	app.flexera.eu	ダイナミック
ID とアクセス管理 (IAM)	login.flexera.eu secure.flexera.eu api.flexera.eu my.rightscale.com	ダイナミック
エラーのログ記録	cdn.trackjs.com capture.trackjs.com usage.trackjs.com fault.trackjs.com	ダイナミック
Flexera Analytics	embeddedanalytics.flexera.eu	ダイナミック

サービス	ドメイン	AWS パブリック IP
推奨	googletagmanager.com	ダイナミック
	static.hotjar.com	
	script.hotjar.com	
	vars.hotjar.com	
	www.google-analytics.com	
	cdn.heapanalytics.com	
	heapanalytics.com	

環境: APAC UAT

サービス	ドメイン	AWS パブリック IP
ビーコン	beacon-uat.flexnetmanager.au	13.210.49.152
	beacon.uat.flexnetmanager.au	54.252.19.176
		54.79.59.101
インベントリ	data-uat.flexnetmanager.au	13.238.152.187
	data.uat.flexnetmanager.au	13.237.137.40
		54.252.141.165
プレゼンテーション – Web UI	https://app.flexera.au	ダイナミック
ID とアクセス管理 (IAM)	login.flexera.au	ダイナミック
	secure.flexera.au	
	api.flexera.au	
	my.rightscale.com	
	メモ: ログインの後、テナント選択ドロップダウン リストから UAT テナントを選択してください。	
レポート	bi-uat.app.flexera.au	ダイナミック

環境: APAC プロダクション

サービス	ドメイン	AWS パブリック IP
ビーコン	beacon.flexnetmanager.au	13.55.211.91
		52.63.115.171
		13.236.74.182

サービス	ドメイン	AWS パブリック IP
インベントリ	data.flexnetmanager.au	13.54.54.204 54.66.22.79 52.65.226.55
プレゼンテーション - Web UI	https://app.flexera.au	ダイナミック
レポート	bi.app.flexera.au	ダイナミック
UI	app.flexera.au	ダイナミック
ID とアクセス管理 (IAM)	login.flexera.au secure.flexera.au api.flexera.au my.rightscale.com	ダイナミック
エラーのログ記録	cdn.trackjs.com capture.trackjs.com usage.trackjs.com fault.trackjs.com	ダイナミック
Flexera Analytics	embeddedanalytics.flexera.au	ダイナミック
推奨	googletagmanager.com static.hotjar.com script.hotjar.com vars.hotjar.com www.google-analytics.com cdn.heapanalytics.com heapanalytics.com	ダイナミック

オンライン証明書状態プロトコル(OCSP) および 証明書失効リスト (CRL) のセキュリティ証明書の確認 URL



メモ: セキュリティ証明書の確認 URL は Amazon、DigiCert または Let's Encrypt から発行されるもので、いつでも変更される可能性があります。Amazon が発行する URL (DigiCert または Let's Encrypt が発行する URL には適用しません) は、<https://app.flexera.com/login> で使用できる証明書確認ツールを使って、ブラウザからの検証が可能です。

- http://*.amazontrust.com
- http://*.digicert.com
- http://*.lencr.org

署名付き自己解凍 EXE パッケージの文書失効 URL

文書失効 URL は、プロキシまたはゲートウェイを構成する際に、ビーコンが自己解凍パッケージの署名を正常に検証できるようにするための補助となります。

自己解凍 EXE パッケージの署名に使用される認証局は、失効チェックに次の URL を使用します：

- ・ http://*.digicert.com

全般設定

分類	要件	メモ
Internet Protocol バージョン	IPv4、IPv6 およびデュアルスタック	リモート実行 (たとえば、リモート検出およびインベントリの収集) には IPv4 が必要です。 クラウド上の IT Asset Management およびトップ階層のインベントリ ビーコン サーバー間のコミュニケーションには IPv4 が必要です。 Microsoft CAL デバイス ライセンスの計算には、CAL エビデンスの収集およびコンピューター インベントリに IPv4 が必要です。
ポート	中央 アプリケーション サーバー へのアクセスには、最低 80 (HTTP の場合) または 443 (HTTPS の場合) が必要です。	 メモ: その他のオプション インベントリ ソースには、追加ポートが必要です。詳細については、オンラインヘルプの「Ports and URLs for インベントリ ビーコンs」を参照してください。
Transport Layer Security (TLS)	1.2	インベントリ ビーコン および アプリケーション サーバー との間のコミュニケーションに必要です。

その他の製品との互換性

このセクションでは、リリース時における IT Asset Management 2024 R2.3 およびその他の製品との互換性について説明します。

その他の製品との統合

IT Asset Management は、次の製品およびコンポーネントとの統合が可能です。サード パーティ製品のサポートは、元のソフトウェア ベンダーが公言しているサポート日に基づきます。その環境が元のソフトウェア製作者によるサポートを終了している場合、Flexera は「現状のまま」サポートを提供します。つまり、任意の欠陥修正または強化の責任は持ちませんが、問題のトラブルシューティングを行います。この表は、現在サポートされているバージョンの詳細です：

製品/コンポーネント	インポートがサポートされているバージョン
App Portal (名前変更前)	2013 R2–2015 R2 SP5

製品/コンポーネント	インポートがサポートされているバージョン
App Portal / App Broker (名前変更後)	2022 R1-2022 R1 SP1
Flexera Normalize (Data Platform)	5.0-5.5
BMC BladeLogic Client Automation (旧 Marimba)	8.2
BMC Discovery (旧 ADDM)	9.0、10.0-10.2 (ADDM)、11.0-24.3
BMC Helix Discovery	BMC Helix Discovery は、クラウド ベースのシステムです。IT Asset Management では最新版の BMC Helix Discovery がサポートされていて、ソフトウェア ベンダーによって提供されている最新機能およびセキュリティ更新プログラムが含まれています。
Citrix Virtual Apps サーバー (旧 XenApp サーバー)	6.0、6.5、7.5-7.9、7.11-7.17 (XenApp)、7.1808-7.2407 (Citrix Virtual Apps)
Citrix Virtual Desktops (旧 Citrix XenDesktop)	5.6、6.0、6.5、7.5-7.9、7.11-7.17 (XenDesktop)、7.1808-7.2407 (Virtual Desktops)
CyberArk	9.8、11.7、12.0、13.0、14.0
Docker	1.13、17.03-24.0 (64 ビット Linux、64 ビット Windows Server 2016 以降)
EdgeSight for Citrix Virtual Apps (旧 XenApp EdgeSight)	5.4、7.6、7.14-7.16 (Platinum ライセンス要)、7.17 (XenApp)、7.1808-7.2407 (Citrix Virtual Apps)
HP Discovery および Dependency Mapping Inventory (DDMI)	9.3
HPE Universal Discovery (HP-UD)	10.10、10.11、10.33-11.5、2020.05、2020.08、2020.11、2021.05、2021.11
Microsoft SQL Server 上の IBM BigFix プラットフォーム (以前の名前は Tivoli Endpoint Manager および IBM BigFix)	8.2-11.0.2
 ヒント: 個別の BigFix 製品と混同しないようにしてください。HCL BigFix Platform (通常「BigFix」または Platform と呼ばれます) および HCL BigFix Inventory は個別のものです。IBM HCLBigFix が唯一の BigFix 製品である場合、ここからインベントリをインポートすることが可能です。しかし、HCL BigFix Inventory も搭載している場合、通常インベントリのインポートは HCL BigFix Inventory からのみ必要です (下を参照)。(HCL は 2018 年 12 月に IBM から BigFix ファミリーを買収しました。)	

製品/コンポーネント	インポートがサポートされているバージョン
IBM License Metric Tool (ILMT) または HCL BigFix Inventory (IBM DB2 上)	- IBM DB2 上の HCL BigFix Inventory: - 以前は IBM Software Usage Analysis (SUA) と呼ばれ、SUA (IBM DB2 上) はバージョン 9.0、9.1 でサポートされています。 - ブランド再構築が行われた 9.2.1 から、IBM DB2 上の IBM BigFix Inventory はバージョン <code><ph conref="#EncycStops/BigFixVer">7</ph></code> でサポートされています。 2018 年 12 月に、HCL が IBM から買収しました。 - IBM License Metric Tool (ILMT) (IBM DB2 上) は、バージョン 9.2.5–9.2.37 でサポートされています。
IBM License Metric Tool (ILMT) または Microsoft SQL Server 上の HCL BigFix Inventory	- Microsoft SQL Server 上の BigFix Inventory: (IBM) 9.2.5–9.2.37、(HCL) 10.0.0–10.0.16 - Microsoft SQL Server 上の IBM License Metric Tool (ILMT): 9.2.5–9.2.37.
IBM License Service	1.20.x–4.2.11
	 メモ: IBM License Service 1.20.x は IBM によるサポート期間が終了しました。
IBM Passport Advantage	2014 年 11 月現在
Linux KVM	サポート対象システム: - CentOS 6–7.5 (x86、32 ビットおよび 64 ビット)、7.6–9 (x86 64 ビットのみ) - Nutanix AHV ハイパーバイザー  メモ: 製品サポート ライフサイクル内のすべてのバージョンおよび libvirt ライブラリの使用がサポートされています。 - Oracle Linux 6.0–6.10 (x86、32 ビットおよび 64 ビット)、7.0–8.7 および 9.0–9.4 (x86 64 ビットのみ) - Red Hat Enterprise Linux (RHEL) 6.0–6.10 (x86、32 ビットおよび 64 ビット)、7.0–8.10 および 9.0–9.4 (x86 64 ビットのみ) - SUSE Linux Enterprise Server 12 SP3、12 SP4、12 SP5、15、15 SP1、15.2–15.6 (x86 64 ビットのみ)  メモ: Linux KVM には、FlexNet Beacon 2019 R2 (14.0) 以降が必要です。

製品/コンポーネント	インポートがサポートされているバージョン
Microsoft App-V Integration Server	4.6、5.0、5.1.85–5.1.134
Microsoft Endpoint Configuration Manager (以前は Microsoft SCCM または SMS)	2007、2012、2012 R2、1511–1906、1910、2002、2006、2010、2103、2107、2111、2203、2207、2211、2303、2309、2403、2409
Microsoft Exchange ActiveSync	2010–2013
Microsoft Hyper-V	実行プラットフォーム: - Windows Server 2008 x64 - Windows Server 2008 x64 Server Core - Windows Server 2008 R2 x64 - Windows Server 2008 R2 x64 Server Core - Windows Server 2012 - Windows Server 2012 R2 - Windows Server 2016 - Windows Server 2019 - Windows Server 2022
Microsoft Intune	Microsoft Intune は、クラウドベースの統合エンドポイント管理プラットフォームです。IT Asset Management では最新版の Microsoft Intune がサポートされていて、ソフトウェア ベンダーによって提供されている最新機能およびセキュリティ更新プログラムが含まれています。
OpenText Universal Discovery	24.2–24.4
Oracle Database	8i、9i、10g、11g、11g リリース 2、12c、12c、18c、19c、21c
	 メモ: 8i – ダイレクト インベントリ ビーコン 接続が必要 9i – Windows の名前付きアカウントまたはダイレクト インベントリ ビーコン 接続が必要 12c – ローカル エージェントを使用する Oracle Multitenant オプションはサポートされていません
Oracle Enterprise Manager	12.1–13.5
Oracle VM Server for x86	3.2–3.4.7

製品/コンポーネント	インポートがサポートされているバージョン
ServiceNow	サポートされているバージョンについては、ServiceNow Store で「Flexera」を検索してください。
	 メモ: ServiceNow で、 <i>Transport Layer Security (TLS)</i> の古いバージョンは使用できません。バージョン 1.2 が必要です。
Symantec IT Management Suite (旧 Altiris)	6.5、7.1、7.5
Tanium Asset	1.8.0.0075–1.28.187
	 メモ: IT Asset Management 2020 R1.1 以降に同梱されている Tanium アダプターが必要です。
Tanium Server	7.3.314.3668–7.5.5.1140
VMware Horizon	クラウド ポッド アーキテクチャを使用しない場合、8.0.0 以上。クラウド ポッド アーキテクチャを使用する場合、バージョン 2012 以上。
VMware vSphere/vCenter/ESXi	5.0–6.7 u3b、7.0、8.0 U2c
	 メモ: ESXi の無償ライセンス バージョンで、リモート インベントリを行うことはできません。
Workflow Manager	2014–2016

インベントリ コンポーネント

次の表には、IT Asset Management 2024 R2.3 で管理可能な FlexNet Beacon および FlexNet インベントリ エージェント バージョンが一覧で表示されます。

コンポーネント	互換性のあるバージョン
FlexNet インベントリ エージェント (Windows)	8.5–9.2、2014–2024 R2.3
FlexNet インベントリ エージェント (Linux)	 メモ: 以前のバージョンは、スケジュールに基づいてデフォルト ポリシーを受け取り、インベントリを収集する機能の面で互換性を持ちます。より新しい、次のようなエージェント機能はサポートされていません: • Internet Protocol バージョン 6 (IPv6) • (.Ini ファイルおよびレジストリ コントロールではなく) UI 設定を使った使用率追跡の制御 (2014 (R1) より) • IP アドレスがターゲットとする設定 (2014 (R1) より) • CAL インベントリ (2016 R1)
FlexNet インベントリ エージェント (Solaris)	
FlexNet インベントリ エージェント (Mac OS X)	
FlexNet インベントリ エージェント (AIX)	

コンポーネント	互換性のあるバージョン
Citrix XenApp サーバー エージェント	2014 R3–2024 R2.3
FlexNet Beacon	2017 R2–2024 R2.3
💡 ヒント: このリリースで古い インベントリ ビーコン も引き続き機能しますが、Flexera は少なくとも表示されている範囲までアップデートすることを強く推奨します。 ・ AWS EC2 コネクタには FlexNet Beacon 2020 R2 以降が必要です。 ・ Citrix XenApp インベントリには FlexNet Beacon 2014 R2 以降が必要です。 ・ Linux KVM には、FlexNet Beacon 2019 R2 (14.0) 以降が必要です。 ・ Tanium コネクタには、FlexNet Beacon 2019 R2 (14.0) 以降が必要です。	

2

ドキュメント

IT Asset Management 2024 R2.3 のドキュメントは、オンライン ヘルプとして提供されています。Web ユーザー インターフェイスから、疑問符記号のアイコンをクリックしてヘルプを起動してください。追加ドキュメントは、オンライン ヘルプのタイトルページから取得することができます。オンライン ヘルプおよび追加ドキュメントは、その内容が必要に応じてカスタマイズされているため、すべてのドキュメントはオンプレミス バージョンとクラウド バージョンで異なります。オンライン ヘルプおよびその他のドキュメントには、<https://docs.flexera.com/> からアクセスできます。

ドキュメントの要素	言語
オンライン ヘルプ	英語
	ドイツ語
	フランス語 – FlexNet Manager for SAP Applications の機能について
追加 PDF ドキュメント	英語
	ドイツ語 – FlexNet Manager for SAP Applications ユーザー ガイドおよびインストール ガイド
SLO プラクティス ガイド	英語
	フランス語
	Flexera ラーニング センターからご利用いただけます: https://learn.flexera.com/

3

その他の情報

項目	説明
Flexera Community	コミュニティには、Flexeraナレッジベース、FlexNet Manager ブログ、ならびに製品のダウンロードが提供されています。 https://community.flexera.com
製品ドキュメント	IT Asset Management の最新リリースのドキュメントは、Flexera ドキュメント Web サイトから利用できます。 https://docs.flexera.com
Flexera システム ステータス ダッシュボード	Flexera のクラウド製品についての現在のリリース状況を表示します。 https://status.flexera.com
Flexera Web サイト	Flexera についての情報 https://www.flexera.com https://www.revenera.com - ソフトウェアおよび IoT 企業向け
Flexera ラーニング センター	IT Asset Management (およびその他の Flexera 製品) のコース開催場所およびベスト プラクティス ガイド。 Flexera Community へのログインが必要です。 https://learn.flexera.com/

4

法的情報

著作権情報

Copyright © 2025 Flexera.

本出版物には、Flexera およびそのライセンサーによって所有されている機密テクノロジー、情報、創造的な製作物が含まれています。本出版物の一部または全部を、Flexera からの事前の書面による明示的許可なしに、使用、複製、出版、配布、表示、改変または転載することはいかなる形態または手段を問わず厳重に禁止いたします。Flexera によって書面で明示されている場合を除き、この出版物の所有は、禁反言、黙示などによっても、Flexera が所有するいかなる知的財産の下、ライセンスまたは権利を一切付与するものではありません。

本テクノロジーおよびそれに関する情報のすべての複製は、Flexera より許可されている場合に限り、著作権および所有権に関する通知を完全な形で表示しなければなりません。

IT Asset Management には、他の開発者によるソフトウェアが組み込まれており、ライセンス契約に従って再配布されます。外部で開発されたソフトウェアの著作権情報およびライセンスは次のリンク先に掲載されています。

知的財産

Flexera が所有する商標および特許の一覧は、<http://www.flexera.com/intellectual-property> を参照してください。Flexera 製品、製品ドキュメント、およびマーケティング資料で言及されているその他すべてのブランドおよび製品名は、各社の商標または登録商標です。

(米国内向け) 制限付権利に関する表示

本ソフトウェアは商業用コンピュータ ソフトウェアです。本ソフトウェアのユーザーまたはライセンス許可対象者が米国政府の代理、部署、その他の関連機関の場合、ソフトウェアまたは技術データおよびマニュアルを含むすべての関連文書の使用、複写、複製、開示、変更、公開、または譲渡に関して、ライセンス契約または本契約の条項ならびに民生機関については連邦調達規則第 12.212 条または軍事機関については国防連邦調達規則補遺第 227.7202 条による制限が適用されます。本ソフトウェアは完全に自費で開発されたものです。その他一切の使用は禁止されています。